

第3回 影絵芝居 ワヤンの実演



だが皮肉なことに、
娘の愛したのは、
王子様まがいの美青年ではなく、
こころやさしい野獣そのものだったのさ。

野獣が野獣でなく、
見知らぬ美青年に戻ったとき、
娘は哀しく、
こころの中いっぱい涙をためたという。

これは、昔むかしのものがたり。

Raksasa dan Gadis Cantik

影絵詩劇(ワヤン・ジュパン) 「野獣、恋のバラード」

バーモン夫人作「美女と野獣」より

脚本・演出・出演：松本 亮ほか
語　り：相良 侑美・二瓶 鮫一
踊　り：酒井 美都子(松山バレエ団)
音楽構成：森重 行敏
演　奏：月光楽団有志

*実演は、録音された音声に生演奏を加え
全編日本語で上演いたします。

■ワヤン講座 参加無料
2011 10/29 [土] 15:00～ (1時間半程度)
東京家政大学 百周年記念館4階 中会議室
松本亮氏(日本ワヤン協会主宰)より、インドネシア
のワヤンを通して40年来続けてこられた国際
交流についてお話しいたします。

2011 9/24 [土]

14:00～16:00 (開場13:30)

観覧無料

東京家政大学 120周年記念館
1階 多目的ホール

[お問合せ先]

東京家政大学博物館

東京都板橋区加賀1-18-1 TEL 03-3961-2918

<http://www.tokyo-kasei.ac.jp/hakubutu/>

主催：東京家政大学博物館 協力：日本ワヤン協会 総合監修：松本 亮

WAYANG

インドネシアのワヤン



ワヤンはユネスコの世界無形文化遺産にも登録されたインドネシアの芸能で、影絵芝居のワヤン・クリや木偶人形芝居のワヤン・ゴレ、仮面芝居のワヤン・トベンなどがあり、上演スタイルもそれぞれに個性的です。

当館では平成19年に特別企画展「影と色彩の魅惑 ワヤン」を開催し、日本ワヤン協会主宰である松本亮氏が40年かけて収集されてきた膨大なコレクションの一部を皆様にご紹介しました。翌平成20年には氏が所有するコレクションから、500点を超す資料をご寄贈いただきました。

この貴重なワヤンの魅力を皆様にご紹介いただくため、当館では平成21年より、日本ワヤン協会の協力を得て、インドネシアの影絵芝居 ワヤン・クリの実演を行ってきました。

3回目を迎える今回は趣向を変え、創作ワヤンであるワヤン・ジュパン(日本のワヤン)を上演いたします。

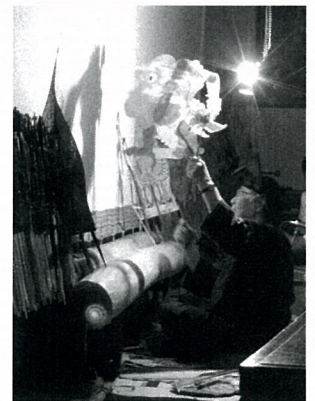
WAYANG JEPANG

影絵詩劇(ワヤン・ジュパン)

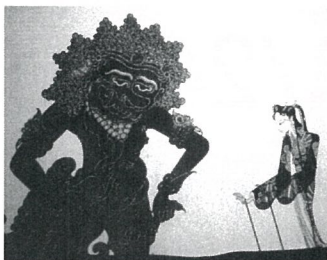
ワヤンの上演形式には無限の可能性がります。ジャワではとくに、伝統をふまえた新様式のワヤンがつつぎに生まれています。日本ワヤン協会では、ジャワ島の伝統的なワヤン・クリの紹介上演のほかに、創作ワヤンの上演も精力的に行い、好評を博しています。

松本亮氏は「40年ほどワヤンを学び、ワヤンを訳し、紹介上演をつづけ、さらにワヤンの変貌、そして新作を探っているうち、影絵詩劇として自分なりの創作を試みるようになっていたのである。学ぶだけでは物足りず、創作を通じ、自分の生きざまをそこに放り込んでみたくなった結果である。」と語られています。

ワヤン・ジュパン(日本のワヤン)とは、ジャワで影絵詩劇に付けられた呼び名です。使用する人形や音楽、題材となる物語が違っても、作品の根底に流れている美学や哲学は、ジャワのワヤンと同じであり、本場でも新しいジャンルとして受け入れられているのです。



ジャワ島ソロ(スラカルタ)でワヤン・ジュパンを上演する松本氏



影絵詩劇「野獣、恋のバラード」

18世紀の幻想童話「美女と野獣」をもとに、かつて、フランス詩人コクトーは映画の傑作を作りました。この童話の原形は、古くはマハーバーラタやギリシア神話にもみられるとされ、世界中の多くの物語に書かれ、多くの演劇に仕立てられてきました。インドネシアではかつて高校の教科書に採用され、いま多様な絵本でも書店の店頭を飾っています。

ワヤン・ジュパンの手法による「野獣、恋のバラード」で、この名作はどんな変貌の姿を見せるのか。ディズニー映画とは一味ちがう「美女と野獣」をじっくりお楽しみください。

開催中の展示のご案内

常設展示

「インドネシアのワヤン」ほか

今年で開館30周年を迎えるにあたり、「インドネシアのワヤン」を含めた当館の4つの主要コレクションを一挙公開しています。

2012 2月中旬まで 観覧料：無料
*休館日などの情報は当館HPをご覧ください

次回展示のご案内

特別企画展

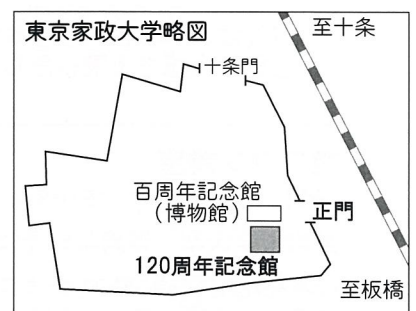
「グアテマラ民族衣装

—いろ・もよう・かたちの発見—

2011 10/20(木)～11/25(金)
休館日：日曜(10/23は開館)・祝日、10/24
観覧料：無料



十条駅北口を降りたら
左手に進んでください



正門よりお入りください
実演は120周年記念館で行います